

kokoiko
第8号
2019.4.1

来て 見て 使って つながって

kokoiko



子育てがしやすい街 日本一へ

ライター講座の受講生から始まり、広がりを見せる「ママチャリーズ」。
2018年末には「みんなでつくる府中子育てマッププロジェクト」を開始。
クラウドファンディングを見事達成しました。
子育てがしやすいまちづくりに向けて、「ママ」だからこそその視点を持ち、
いきいきと活動する姿に、多くの共感と応援が集まっています。

contents

- 子育てがしやすい街日本一へ
- column-新しいマップを作る-
- プラッツ登録団体紹介
- プラッツつながりカレンダー
- プラッツよもやま情報

ママチャリーズ代表
成川綾さん



ママチャリーズは子育て支援活動だけでなく「ママたちのやりたい事が見つかる場所、やりたいことが出来る場所」でありたいと思っています。「てくてく府中」を通して、多くの方に楽しい子育てライフを送って

もらいたいという想いと同時に、メンバーが取材に行き、様々な人と会うことでメンバー自身の未来を広げられたら。ママチャに参加したことで夢が見つかったり、目標が実現できたら、それが私の一番望んでいることなんです。

お母さん向けの情報を発信する

情報を集めるためにはまず記事がないといけないと考え、最初はブログを書くことからスタート。同じ境遇のお母さんたちに向けて、取材等を通して市内の情報を集めていきました。ある程度の記事がそろったところで、子育て情報サイト「てくてく府中」を開設。その後も活動をひろげ、2009年からは未就園児のいる家庭向け情報誌「てくてくひろば」を発行開始。現在では府中市内で子育てをする人ならば、知らない人はいないほどとなっています。また、子育て支援者同士の交流会「ママ茶会」、保育園入園を希望している保護者向け「保活カフェ」等、子育てをしているからこそその独自の視点で活動を行っています。

何のために続けるのか

一時は、子育てを終えたメンバーが会を抜けていき、2人まで減ってしまったこともありましたが、使命感が圧になってしまい、なぜ続けているのだろうと考えてしまうことも。しかしそんな時、まちなかでお母さんたちがてくてくひろばを見ながら相談している風景や、紹介した団体からの感謝のメッセージが届く中で、続けていきたいと思い直しました。時を同じくして新たなメンバーも加入し、団体として一つの転機となりました。当時のことを、当初からのメンバーである軽部さんは「女神がおりてきた!」と振り返ります。

始まりは託児付き講座

ママチャリーズ発足のきっかけは、2008年に女性センターで開催された、「女性のためのライター講座」でした。子どもを預けて自分の好きなことができる機会が少なかった中で、「託児付き」の文字に惹かれて受講しました。同じようなことを考えて参加した主婦も多く、講座終了後仲良くなったメンバーでランチをする中で、「ママ向けの情報をもっと気軽に手に入ったらいいのに」という話に。せっかくライター講座を受講したのだから、自分たちで作ろうと、ママチャリーズが立ち上がりました。

出来るときに、できることを

ママチャリーズの代表である成川さんがよく口にする言葉は、「出来るときに、できることを。」「子どもや家族の事情で、動けないときもある。そんな時は無理をしないで、身体が空くときにできることをやって、楽しく続けていくことを大切にしていきたいです。」そんな雰囲気もあって、ママチャリーズではメンバーがやりたいと思ったこと、府中のお母さんたちのためにやったほうが良いと感じたことを、語り合い、相談し、実現に結び付けています。



kokoiko column



プラットフォーム「act634府中」による府中市との協働事業「みんなで作ろうバリアフリーマップ府中」も、2019・2020年度での作成に向けて活動が行われています。



2018年度府中市民協働まつりでは、府中いいとこ自慢マップを作成しました!

今回ご紹介した子育てマップのように、様々な視点でマップ作りをしていく活動が広がっています。今まで特別意識をしていなかったまちの魅力やマップに落とし込むことで、新しい視点で街を見て歩くきっかけとなります。また、様々な視点から街を眺めてみると、今まで気づくことのなかった新しい発見をするかもしれません。さらに、街の魅力を目に見える形にすることで、地域ブランドの発信や、人に紹介しやすくなるなど、マップの可能性は広がるばかりです。

新しいマップを作る

府中子育てマップ

2018年12月、ママチャリーズとして初めてのクラウドファンディングに挑戦をし、見事111%の金額を集めて達成した「みんなで作る 府中子育てマッププロジェクト」。2018年9月29日、「子育てひろばのわ」と、2018年11月24日・25日、「府中市民協働まつり」の来場者に、普段使っているお店等を紹介してもらい、約300か所の情報が集まりました。この中の店舗をママチャリーズメンバーが取材し、地図に落とし込んでいくプロジェクトです。「私の場合は、産後3か月くらいはバタバタしていて外との交流も取れず、気が落ち込むこともあり。そんな境遇にいる人たちが外に出てリフレッシュをするきっかけになればと思っています。」と提案者である今吉さんは話します。「子育て中はお店を選ぶのも一苦労。行きたいと思ったお店が子連れOKかどうか分からない中で、子連れ歓迎のお店がまとまっているマップがあれば、もっと気軽に外に出ることができるのではないのでしょうか。また、このプロジェクトは、「みんなで作る」ことを大切にしています。子育てマップを作る過程で、子育てサポーターを募り、クラウドファンディングのお返し品として子育てサポーターステッカーを進呈したり、またマップ作りの取材をする中で、「子育て歓迎と謳うからには、もっとお子様連れが来やすい環境にしますね。」というお店の方からの声も上がるなど、まちの様々な人が、子育てをサポートできる環境が広がっています。マップに掲載された店舗等にもステッカーを送り、子連れ歓迎のお店が可視化されていく予定です。

子育てマップは、2019年5月を目途にリリース予定。それまでに交流会やマルシェを開催し、さらに多くの方々を巻き込んでいきます。

子育てしやすい街日本一を目指して。

ママチャリーズ

2008年に府中市在住の主婦8名で結成。

府中市の子育て情報サイト『てくてく府中』、子育てイベント情報紙『てくてくひろば』のほか、府中の地場産野菜を使った料理教室や女性向けライター講座、子ども向けの工作体験、子育て支援者同士の交流会「まま茶会」、「保活カフェ」などのイベントを開催している。

行政、中間支援組織、市内の子育て支援団体からなる連絡会「子育て会議」の立ち上げに関わり、9年前から開催している「ひろげよう！子育てひろばのわ」には第1回から企画運営で参加している。

現在更なる活動の実施に向けてメンバーも募集中。

お問い合わせはお気軽にどうぞ-

ママチャリーズ

▶ 代表 成川綾(なりかわあや)

▶ TEL 070-6488-6291

▶ Email narikawa@tekuteku-fuchu.com



ママチャリーズ
公式キャラクター
ママッチュ

府中市市民活動センター プラッツ 登録団体紹介

地域を明るくするリハビリテーション専門職の会

「地域を明るくするリハビリテーション専門職の会」は、リハビリテーション専門職の知識と技術を活かし、人の健康、住民の健康、街の健康を支え「地域を明るくする」ことを目的とする会です。活動内容は、介護予防の講演や、間接支援(現場で支援を行う人のサポート)など。その活動の背景には、「人を集めてイベントを行うのではなく、会場に来ることのできない人たちに介護予防を届けたい」という思いがありました。自分たちで地域に出て行くことは病院では出来ず、市民団体だからできるそうです。代表の小野雅之さんが、「チャレンジして、行動して、ワクワクしたい」とキラキラと目を輝かせて話していたのが印象的でした!

(市民記者:うえき)



特定非営利活動法人 地域教育ネット

「府中の子どもたちに卓越した教育の機会を!」という理念の下、すべての子どもが自己実現に向けて前進できるような活動を行なっている「地域教育ネット」。この団体は、生徒や保護者向けに年に一度、高校入試制度の説明を聴いたり、高校ごとの個別相談をしたりできる「高校進学説明会・相談会」の開催をはじめ、放課後の中学校で学習活動やコミュニケーション活動を行う「中学校放課後学習活動 FLY」を市内のいくつかの中学校で実施中です。「FLY」では、地域の中学生が講師とのコミュニケーションのなかでありのままの自分でいられるような学習の場を作ることを目指しているそうで、講師と生徒によるボーダーレスな学習活動が日々行われているのだとか。こうした活動を通じて、地域の子どもの学習に対する意欲だけでなく、子どもたちのなかにある「きもち」に向き合い、育てていることがこの団体の魅力になっているように思います。

(市民記者:農工大 石井)



団体登録しませんか?

団体登録は
こちらから

プラッツの登録団体になると、団体活動スペースの予約利用や印刷室、各種貸出機材の活用、さらにWebやチラシ等での情報発信支援、各種イベントへの出展など、メリットがいっぱいです!府中を拠点に、地域や社会のためになる団体活動を展開している皆さまは、プラッツ窓口やホームページを確認のうえ、ぜひご登録ください。



4月

新年度 START

kokoiko8号



一ほぼ毎月開催一

第2日曜日 若いぼくらにできるコト

とまどき 遊び場ぷらっと
(コミュニケーション&ボードゲーム)

毎週月曜日 勉強カフェ

5月

はじめの一步

5/16 (木) - 6/13 (木) 全5回
はじめての市民活動入門編



5/18 (土) ~ 全12回
市民活動専門講座

最終金曜日 しごとパー府中

とまどき プラッツとカフェ

1.3水曜日 キッズスペースミニイベント

6月

地域をつなぐ

6/1 (土) - 7/27 (土) 全8回
つなぎすと府中養成講座



第5回府中市民協働まつり 企画委員大募集!

毎年11月に開催する「府中市民協働まつり」の企画や実行委員会運営、まつり当日運営を事務局と一緒に担ってくださる企画委員を10名募集します。協働まつりは、多様な市民活動団体及び企業との協働等を普及啓発する場として、また出会いと交流を促進することを目的として開催します。

参加団体・企画委員、みんなで作り運営する市民協働まつりにご協力くださる方、館内および公共施設設置の応募用紙に必要事項をご記入の上ご応募ください。

締切: 4月30日 (火) ※詳細は、HPをご覧ください。

プラッツ よもやま情報

NPO法人会計についての専門相談が始まります!

資金の流れや事業の話など、一般社団から個人事業主、任意団体に至るまで様々な事業形態の方でもご相談いただけます。

毎月第3土曜日10:00~12:00 2組限定

遊び場ぷらっと コミュニケーション&ボードゲーム

「遊び場ぷらっと」は50種類ものボードゲームで遊べる青少年スペースで開催されているイベントです。昨年度は、認定NPO法人育て上げネットさんと市内の大学生に加え、ボランティアの市民のパパママたちのサポートがあり、スピノフ企画なども含めて全18回開催することができました。今年度も継続して開催予定です。参加無料、是非お気軽にご参加ください♪ (日程はHPでご確認ください)



編集後記

鳥のさえずりや、次々と咲き始める花が、府中の街を彩る季節がやってきました。kokoikoも見やすい紙面となるよう装いを変えました。プラッツでは、今年度も市民活動を応援する様々な事業がスタートします。さあ!あなたもプラッツで新しい何かを始めませんか?

キッズスペースミニイベント 水曜日になります!

ミニイベントの曜日が火曜日⇒水曜日になります!

ミニイベント: 第1・3水曜日 11:00~11:20

OhBaby'sCafe: 不定期の第4水曜日 11:00~11:30

内容は館内掲示・WEB/SNSでも発信します。

遊びにきてくださいね~(^)



重さ10kgのチラシ

今年1・2月に当センターが預かり、配架したチラシは8千枚を超えました。格安印刷の普及とともに大量の印刷が容易となり、様々な情報を得ることができる一方で、手に触れられないままのチラシも増加しています。同月、チラシ配架総量の約20%にあたる「1,660枚/約10kg(※1)」を廃棄処分しました。「過剰」を無くすため、印刷部数の見直しをしていきましょう。

※1 一般的なコート紙90kgの場合

プラッツHP



府中市市民活動センター プラッツ

TEL 042-319-9703 / FAX 042-319-9714

MAIL info@fuchu-platz.jp http://www.fuchu-platz.jp/

〒183-0023 東京都府中市宮町1-100 ル・シーニュ5、6階
(京王線「府中駅」南口直結)

2019年4月1日 KOKOIKO第8号

発行責任者 館長 吉田恭子

©2017 府中市市民活動センター運営グループ

